

阿南町社会福祉協議会

第106号

まめだかな？

長野県下伊那郡阿南町西條709 「おげんきサルビアの郷」内
TEL(0260)22-3151

まめな人達 No.32

このコーナーでは、阿南町で
元気に過ごしている
「まめな人達」を紹介します。



て迎えられ、二八歳で結婚、当時は木材需要最盛期で山の仕事に従事し、大井川の最深部へ二年間も泊まりきりで伐採を

武さんは、阿智村伍和で生まれ、海軍通信学校を出た後、スマトラ島沖へ出兵、終戦を迎えますが捕虜として一年を過ごし帰国しました。縁あって八千代さんのお宅へ養子として迎えて下さったのは、奥様の八千代さんでした。

さわやかな秋晴れの午後お訪ねしたのは、栗野にお住まいの屋号が宝屋、村松武さん（八八歳）・八千代さん（八九歳）ご夫妻のお宅です。

武さんは、今年米寿のお祝いを迎えるにあたって、ご自身で編んだビク（竹細工）を常会の各戸（二十軒余り）へお配りするくらい手先が器用で、まだ、お車も運転されるとのこと。庭先にある納屋兼車庫には、様々な道具類が置かれ、お手製の竹細工が吊るしてありました。お庭にてひとしきりお話を伺った後、ご自宅へお邪魔すると、「さあ、おあがりて」と何ともいえない笑顔で迎えて下さったのは、奥様の八千代さんでした。



内で「俺が組んだミシンはシワが寄らず綺麗に縫える」と評判になるくらいでした。退職を機に「これなら俺にもできる」と始めたのが、竹細工というわけでした。

田んぼの話になると「昔はみんな、イセ鋏を使って手でうったものだ。水を入れてから鋏でこぎり、縄を張って腰にビクをしょって田植をし、稲刈り、ハザ干しのあとは、コバシでこいて、土臼で摺ってフルイでふるって、仕上げたものだ」と、昔を思い返しながら、ご夫婦で語られました。

お茶をすすりながら、尽きない話に時を忘れて聞き入っていると、「わしはえーかん（歩かないの）で、世間のことはよう知らんでな」と、武さんを見やりながら呟いた八千代さんの一言は、ご夫婦でご苦労なされた日々を懐かしむように感じられました。

突然の訪問にも係らず、温かくお迎え頂き有難うございました。

（井澤博之）

サルビア通信

秋祭り盛大に 開催される！

みんなで
みほれた「大
下條民謡ク
ラブ」様。
三日目は、
透き通った

デイサービスセンターサルビア・のどかでは、十月十五日から、食欲の秋と利用者の皆様に日頃のありがとうと感謝の気持ちを込めて、「秋の大感謝祭」を行いました。

音色に心を奪われそうになった「下條はづき会」様の大正琴演奏。
四日目は、安らかなひとときを与えて下さった「正法寺梅花講」様。

初日は、陽気なおばさんでおなじみ「ともしびの会」様。
二日目は、『旅の夜風』など慣れ親しんだ曲に奏でられた「阿南ハーモニカクラブ」様。

五日目は、かわいいタヌキから始まったと思いきや、美しい歌声に魅了された「シルバーうたごえサークルしゃくなげの会」様。
最終日は、社協職員サークル

「おひとよし太鼓」の和太鼓演奏、かわいいゲストも加わり、『日本一！』との声も聞かれ、盛大の中感謝祭は幕を閉じました。
芸術とは、愛とのためにだけするものではないそうです。感謝することによって自らの心が温かくなっていくんだそうです。これからも感謝の気持ちを大切にし、おもてなしをしていけたらと思います。
追伸、黄門様ありがとうございます！
(木村 一晃)



ともしびの会



阿南ハーモニカクラブ



大下條民謡クラブ



下條はづき会



正法寺梅花講



おひとよし太鼓



しゃくなげの会





目となりましたが、少しずつ競技内容も変え、皆さんに楽しんでもらえるように工夫もしてきました。

グループホームまめだかな まめだより

三施設合同運動会開催

十月十日、まめだかなにて三施設合同運動会が行われました。まめだかなの利用者さん他、遠山の和田の家と新野のやすらぎの里の皆さんにご参加いただきました。

今年で三回



職員が着ぐるみを着たり、コスプレをして風船割りリレーをするなど、利用者さんと楽しく競技を行えるよう盛り上げてくれました。玉入れでは、たった一個の差で勝敗が決まるような白熱した試合もあり、大いに盛り上がりました。運動会終了後には、おいしいお弁当を食べ、全員で記念撮影をし、他施設の方々を見送りました。「また来てな。気を付けて帰りなよ！」と別れを惜しんで、車に乗り込むまで声をかけていた利用者さんもありました。来ていただいた和田の家、やすらぎの里の利用者さんも、来年また元気にお会いできるように願っています。

(林 大介)

第5回 地域まめったいサミット 開催！

～おる所つちゅうもんは、置いてけんもんでね～

- 1 **趣 旨** 本サミットでは、過疎・中山間地等で行われている支え合い活動の実例から学び、人々が互いにつながり、心豊かに暮らせるまめったい(元気な)地域づくりを考え続けてきました。5回目の開催となる今回は、阿南町に学びます。かつては街道が通い、交易や文化交流の盛んだった地域で、古くからの民俗文化が残る一方、今日では過疎・高齢化が進んでいます。1回目から4回目までで報告されてきたサミットの歩みを振り返り、一貫して提言されてきた山里の力と、そこに暮らし続けることの価値を改めて確認します。
- 2 **主 催** 社会福祉法人長野県社会福祉協議会
- 3 **期 日** ■12月8日(土)〈12:10開会～16:30閉会〉、 ■9日(日)〈午前中〉
- 4 **会 場** 阿南町民会館 【メイン会場】
ゆうゆ～らんど阿南 かじかの湯【情報交換会・宿泊会場】
- 5 **対 象 者** テーマに関心のある方はどなたでも
- 6 **定 員** 1日目 200名 / 2日目 オプションツアー 20名(両日とも定員に達し次第締め切ります。)
- 7 **日 程** ■1日目：講演会『山里を継承させる意志とは』内山 節氏(哲学者、立教大学大学院教授)
報告会…これまで4回のサミットを振り返って事例報告
座談会…阿南町各地での地域活性化の取組紹介と関係者の座談会
伝統芸能披露…「和合の念仏踊り」(12:20～)
■2日目：オプションツアー…「阿南町最深部・和合鈴が沢集落を訪ねて」
- 8 **参加費等** 参加費 1,000円、オプションツアー参加費 500円
情報交換会費 4,000円、宿泊費 2,500円、朝食代 840円
※宿泊先はコテージとなります(2～8名の相部屋)。
- 9 **申 込 み** 11月30日(金)までに、阿南町社協・地域福祉課(22-3151)までお申込み下さい。

平成24年度社協会費の納入にご協力をお願いします

平素は当協議会の事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。

今年も社協会費の納入を行ないたいと思いますのでご協力をお願い致します。なお、詳細につきましては当広報紙と一緒にお届けした、別紙通知をご覧ください。また、お問い合わせは通知にある担当までお願い致します。結果は次号にてお知らせ致します。



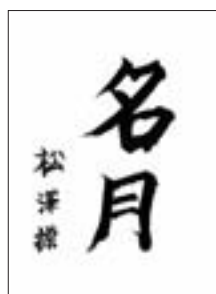
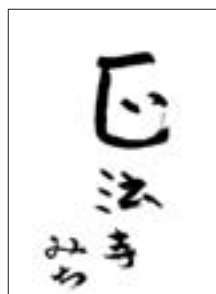
九十の手習い

利用者の習字作品紹介

八月にサルビアで習字をやっていたできました。

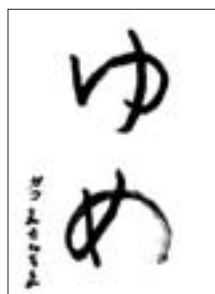
「何十年ぶりだ!」と口々に言っておられました。いざ筆を持つと皆さん集中した表情で取り組んでおられました。作品の一部を紹介します。

代田 みちさん(98) 松澤 操さん(87)



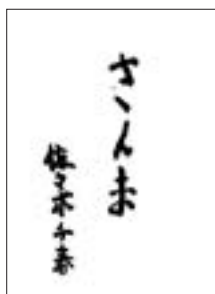
勝又いちゑさん(95)

石田 節子さん(87)



佐々木千春さん(93)

飛矢崎 智さん(84)



おもちゃ図書館年末年始休館のお知らせ

日頃はたくさんの方にご来館頂き、誠にありがとうございます。年末年始に伴い、以下の期間は休館日とさせていただきます。

12月25日(火)～平成25年1月11日(金)

なお、来年最初の開館日は1月15日(火)となります。

予告 来年2月に、節分会(年取り)イベントを開催予定です。詳細は、年明け1月1日号の広報でお知らせいたします。お楽しみに!

寄贈のお礼

●伊藤睦美様(早稲田)より洗剤入浴剤等沢山いただきました。

有効に利用させていただきます。有難う御座いました。

●平成24年度7.8.9月野菜等頂も物(職員以外)

頂いた食材は、余すところなくデイスサービスの昼食や配食サービス弁当の貴重な材料として余すところなく使わせていただきました。有難う御座いました。

木 下	元 様	大 平
佐々木	甲 様	深 見
村 澤	一 司 様	帯 川
熊 谷	好 武 様	浅 野
佐々木	傳 男 様	井 戸
松 澤	悦 子 様	深 見
熊 谷	繁 代 様	下 條
そ の 他	匿 名 様	3 名

編集後記

本誌の発行日は、二十四節気でいうと霜降と立冬のちょうど中間になる。季節を表す言葉は数々あれど、季節を感じるには野山に出でねばならない。寒露の頃、家族で散策へ。ムカゴ、アケビ、山栗と採取の面白さはもちろん、食する楽しみは、この季節でしか味わえない醍醐味だ。他愛もないことかもしれないが、貴重な原体験として子供たちの記憶に残ってくれればうれしい。

(井澤 博之)